



「もしもの話をもっと身近に」開催日:令和4年11月27日

参加者:55名

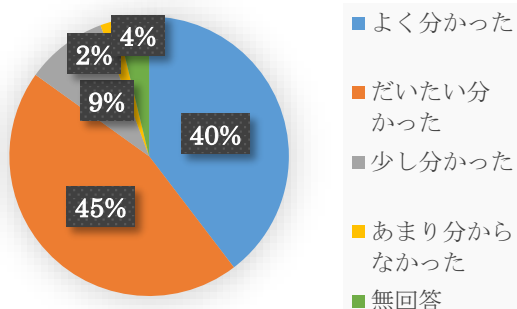
市民公開講座を開催しました！！

いなべ在宅医療・介護連携研究会運営委員会では、市民の方と医療・介護関係者が一緒になって地域の在宅医療と介護の連携について学び考えることができるよう、住民参加型事業を実施しています。

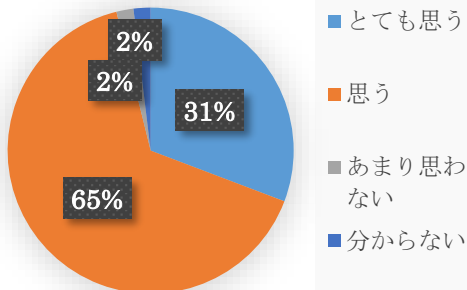
令和4年度は人生会議の具体的な進め方に関する講演のほか、実際の経験談を通じて自分らしく豊かに過ごすための心づもりについて学びました。

参加者の声

Q:人生会議の内容は分かりやすかったですか？



Q:今日の話聞いて、家族や大切な人と人生の最終段階について話してみようと思いますか？



★各種の実例に添った動画と付き添った方々の思いがとても参考になりました。私は、延命不要、自然死希望ですが、最期の痛み止めや、呼吸困難時の酸素は、延命措置にあたるのですか？私は家族たち特に息子、嫁には延命しないように伝えていきます。

(70代以上 男性)

★終活をためらっている自分が恥ずかしくこれを機会に着手して、人生百年時代の残りの第3の人生として迎えたい(70代以上 男性)

第一部

講演 「元気な頃から人生会議～本人と家族、人生会議の進め方～」

講師 西川 満則 国立長寿研究医療センター 緩和ケア診療部医長

大城 京子 快護相談所和び咲び 副所長 主任介護支援専門員

第二部

動画上映 「これから人生会議を始める人に、私たちが伝えたいこと」

第三部

総合討論

座長 中橋 恒(松山ベテル病院) 辻川 真弓(鈴鹿医療科学大学看護学部)

★認知症の母とは人生会議は今さら無理なのかと思ったり、ちゃんと話す場合もあるから思いだけでも聞いてみる(たとえ支離滅裂であっても)ことも大切なかと思いました。初めて人生会議という内容を知って、老いても若くても大切なことと思いました。口に出して話すことで、自分自身もどうしたいか、だんだんわかってくるだろうし、してあげたいことも見えてくる。もしかしたら母や夫が、私の思ってもみないことを考えているかもしれない。聞いてみたいと思いました。元気な時から継続して(変わっていくことなので)繰り返し話せるようになると良いと思いました。

(50代 女性)

◆人生会議について、話し合いの重要性には多くの方が賛成していますが、実際に行動に移す方はまだまだ少ない現状です。

講演会参加者アンケート結果では「あなたは今日の話聞いて家族や大切な人と人生の最終段階について話してみようかと思いませんか？」の問いに96%の方が「とても思う」「思う」という回答でした。

参加者の方にお渡ししたエンディングノートをきっかけに、是非ご家族の方等と人生会議をしてみてください！！